

新基地建設反対名護共同センターニュース

参院選で伊波氏を再選させ平和と暮らしを守ろう！



写真上は挨拶する仲本会長。右へ来賓席の赤嶺氏、伊波氏。写真右は、民商婦人部員から激励の花束を贈呈される伊波氏。



名護民主商工会は28日、第38回定期総会を名護市内の同民商工会館で開催、46人の代議員が参加しました。仲本興真会長は、「沖縄の本土復帰から50年だが、県民の願いだった『基地のない平和な沖縄』は実現していない。参院選と知事選、いつせい地方選でオール沖縄勢力を勝利させ平和な沖縄を実現させよう。800人民商達成で業者の営業とくらしを守ろう」とあいさつしました。

参院選と知事選・地方選で「オール沖縄」勝利を

赤嶺政賢衆院議員、伊波洋一参院議員が来賓のあいさつ。赤嶺氏は「戦争か平和かの岐路に立っている。営業と暮らしを守るためにも当面の参院選と知事選・地方選の勝利めざし頑張ろう」、伊波氏は「国会に沖縄の声を届けることが大事。業者のくらしを守るためにも消費税5%への減税とインボイス制度を中止させよう」と訴え、一斉地方選挙での組織内予定候補6人が紹介されました。総会では討論のあと方針案が決定され、仲本会長、比嘉末美事務局長など役員を選出。盛り上がりの中で終了しました。

「平和でこそ商売」名護民商総会が盛り上がる

たたかいつつ学び、学びつつたたかう



ヘリ基地反対協議会は5月26日、北上田毅氏(平和市民連絡会)を講師に名護市内で辺野古新基地建設に関わる学習会を約40人の参加で開催。北上田氏は設計変更をデニー知事が不承認とした理由を説明。また、政府の地震調査委員会が長期評価を見直したことを受け、「再度、設計変更不承認すべき」との辺野古調査団の見解を紹介。美謝川の進路変更工事の諸問題なども指摘しました。

軟弱地盤や美謝川問題など学ぶ
ヘリ基地反対協が北上田氏講師に学習会



辺野古ゲート前のテント村で5月26日、「第8回辺野古塾」を開催、前衆院議員の屋良朝博氏(写真)が講演。屋良氏は、戦後本土にあった海兵隊が沖縄に移転した歴史的経過を説明し、地勢的理由ではなく政治的理由だったと説明。沖縄が琉球世(ゆ)から大和世に、さらにアメリカ世へ、そして再び大和世へと変遷した時代背景や文化の流れを、ユーモアを交えながら縦横に語りました。

沖縄への海兵隊移転は政治的理由
第8回辺野古塾で屋良前衆院議員が講演

県民大行動と集中行動を再開します。【オール沖縄会議】

「オール沖縄会議」からのお知らせ

来たる6月4日(土)の県民大行動と6月16日(木)の集中行動日を再開します。なお、県民大行動・集中行動は、県の警戒レベルが3以上になった場合は中止とします。

記

1. 県民大行動

日時…6月4日(土) 11時～12時
 ※集会前後の抗議活動は行いません。
 場所…辺野古ゲート前

2. 集中行動日

日時…6月16日(木) 8:30～11:00
 場所…辺野古ゲート前
 内容…①再開にあたってまずは1回目(午前9時)を集中行動とします。

②各市町村島ぐるみ、オール沖縄会議幹事団におかれましては、1回目に集中できるようにご協力をお願いします。
 ③引き続き、2回目(正午)、3回目(午後3時)の参加もお願いします。
 ④時間的に1回目が間に合わない場合は、各市町村島ぐるみの判断でこれまで同様2回目からの参加など対応下さい。

第3木曜日の集中行動は、コロナ禍の中で2020年4月より中止を余儀なくされてきました。感染状況は決して好転しているわけではありませんが、ワクチン3回目(本人意思尊重を前提に)、基本的感染対策の徹底、現場での対策を図り、何よりも国の民意無視の横暴な建設強行に今一度県民の結集で「断固阻止」を示すため6月より再開致します。

3. ブルーアクション

ブルーアクションにつきましては、県民大行動の有無にかかわらず、各市町村で日程を決めて継続し実施していきます。

ご参加、ご協力をお願い致します。